

### 経理●税務

#### ●下半期の重要課題への取組み

3月決算の企業では、10月から下半期に入ります。

上半期の業績をしつかりチェックし、年度収支計画の進捗状況を確認します。課題が浮かび上がっていたり、見直しが必要な事項については、早急に対策を検討しましょう。

新型コロナウイルスの影響で業績が落ち込んでいるケースも多いと思われますが、現在の状況で採り得る最善の方法を検討しましょう。

#### ●年末にかけての資金需要と資金繰りのチェック

これから年末にかけては、大きな資金需要（年末商戦用の在庫の増殖と販売促進、賞与の支払いなど）が発生し、接待や贈答関係の小口の諸経費も増える時期です。ことしも新型コロナウイルスの影響で、例年どおりには進まないことも多いはずですが、昨年の実績や下半期の売上計画・利益計画を勘案し、他部署の協力も得ながら、その内容と資金手当ての方法を綿密にチェックしましょう。

検討の結果、新たに借入れが必要となる場合は、早めに取引金融機関に働きかけることが大切です。

#### ●3月決算法人の中間申告の準備

3月決算で中間申告が必要な法人は、11月の決算応当日までに中間申告と納税を行ないます。

法人税の中間申告には、前事業年度の申告額の半分を納付する予定納税と、半年間を1事業年度とみなして仮決算を行ない、納付税額を算出・納付する方法があります。

ただし、仮決算した場合の法人税額が前期基準額（前事業年度の確定法人税額の2分の1）を超える場合は、予定納税による方法に限られています。

#### ●販促費用の支出

秋の行楽シーズンから年末に向けては商戦が活発になり、様々な販促企画も実施されます。

通常、経理部門がこうした販促企画に直接的に関わることは少ないと思われますが、営業部門に資金面や節税面のアドバイスをするなど側面から支援することも大切です。

#### ●税務調査への対応

税務当局は7月から新しい事務年度に入り、秋口から税務調査が本格化するため、10月は1年のなかでも調査の多い時期といえます。業績にかかわら

ず、いつ税務調査を受けても対応できるように、証拠資料などを整備しておきましょう。

### 人事●労務

#### ●社会保険の適用者が拡大

10月1日から、常時雇用される被保険者数が101人以上の事業所で働く一定の短時間労働者も、社会保険の適用を受けることになります。

そのため、これまで扶養の範囲内で働いていたパート・アルバイト従業員も、社会保険に加入しなければならぬケースが出てきます。

社会保険加入者のモレがないように留意しましょう。

#### ●改正育児・介護休業法の施行で「産後パパ育休」が導入

10月1日に改正育児・介護休業法が施行され、「出生時育児休業制度（産後パパ育休）」などの新たな制度が導入されます。

分割して2回取得できる、労使協定を締結している場合は、労働者が合意した範囲で休業中に就業することができる等の改正が含まれています。

制度の内容、実務上の留意点等に関

しては、46ページの連載記事で紹介しています。

## ●雇用調整助成金の特例措置等を減額 のうえ延長

ことし9月30日に期限を迎える、新型コロナウイルスの影響を受けた企業などに対する雇用調整助成金の特例措置等について、厚生労働省は10月以降縮小して延長することを決めました。

雇用調整助成金は、企業が従業員を休業させた際に休業手当の1部を助成する制度です。通常は1日当たり8355円が上限でしたが、コロナ禍の特例として1万5000円とされていました。今回の措置で、上限額は1万2000円に引き下げられ、期間は11月末までとされています。12月以降については、状況を見て改めて判断することとされています。

今後の詳しい内容等については、厚生労働省のホームページを参照してください。

## ●健保・厚年の標準報酬の切替え

7月に提出した「報酬月額算定基礎届」に基づく定時決定で、9月から健康保険・厚生年金保険の標準報酬が切り替わります。

切替え後の標準報酬月額に基づく保険料は、原則として10月に支給する給与から徴収を開始します。手続きや金

額等を改めて確認しましょう。

## ●来年度の採用内定とそのフォロー

ことし3月に内閣官房から発表された「2023年度卒業・修了予定者の就職・採用活動に関する要請について」に則り、多くの企業では10月1日以降に内定が出されます。

来春新卒予定者に採用の内定を出すにあたっては、入社誓約書を同封して内定通知書を送り、記名した誓約書を返送してもらうとよいでしょう。

また、入社をより確実にするため、定期的な連絡、社内報の送付、懇親会の実施など、積極的なフォローに努めてください。

64ページの記事では、効果的な内定者フォローの手法を紹介しています。

## ●社員の異動に伴う事務手続き

10月は、人事異動の多い月です。同一職場内の異動であれば、特に法定の手続きはありません。

しかし、住所地が変わる転勤や出向、扶養家族に変更があった場合は、社会保険関係の法定手続き、諸手当（通勤手当・住宅手当・家族手当など）の変更に關する事務などが発生します。また、貸与物品の返還や異動先への事務引継ぎも必要です。

## ●全国労働衛生週間

10月1日から「全国労働衛生週間」

がスタートします。今年度のスローガンは「あなたの健康があつてこそ笑顔があふれる健康職場」です。この機会に、快適な職場環境づくりに努め、労働者の健康管理意識を啓発するとともに、自社の安全衛生活動を見直しましょう。

全国労働衛生週間を活用し、過労死等の防止を含めた長時間労働による健康障害の防止対策や、メンタルヘルス対策の推進、病気を抱えた労働者の治療と仕事の両立支援をサポートする仕組みづくりなどに取り組みしましょう。

## ●健康診断の実施

秋に健康診断を実施する企業では、その要領について社員に周知徹底しましょう。

当日都合がつかない社員には、別の受診日を設定し、受診モレが発生しないように努めましょう。

## ●ストレスチェックの実施

企業のメンタルヘルス対策として、従業員数50名以上の事業場では、1年に1回、ストレスチェックを実施することが義務付けられています（当面の間、従業員数50名未満の事業場については努力義務）。

結果は、実施者から本人に直接通知されます（本人の同意なく事業者がその結果を知ることはいけません）。

通知を受けて一定の要件に該当した労働者から申出があった場合、事業者には医師による面接指導を実施する義務があります。

さらに、面接指導の結果に基づいて医師から意見を聴取し、必要に応じて労働時間の短縮や、就業場所の変更といった就業上の措置をとらなければなりません。

なお、本人の同意を得て取得したストレスチェックの結果の記録は、5年間の保存義務があります。

### ●冬季賞与の資料・情報の収集

冬季賞与を支給する予定の会社は、検討にあたって資料・情報の収集を始めた時期です。各種媒体のほか、商工会議所や同業組合、取引銀行の経営相談所などの資料・情報で、地域や業界の相場を調べておきましょう。

また、支給原資についても早めに確認し、売掛金の回収を強化するなど、資金確保の方法を検討しておきます。

### ●「延納」を申請した場合の労働保険料第2期分の納付期限

労働保険の概算保険料は一括納付が原則ですが、年度更新の際に「延納」の申請をすることにより、3期に分割して納付することが可能です。

今年の第2期分の納付期限は10月31日です。

所轄の労働局から納付書が送られてきますので、内容を確認し、期日までに納付しましょう。

### ●労働者死傷病（軽度）報告の提出

7月～9月の3か月間に発生した業務中の軽度の事故や疾病により、社員が3日以下の休業をしたときは、10月末日までに労働者死傷病（軽度）報告を、管轄の労働基準監督署に提出する必要があります。

4日以上は休業が発生した場合には、そのつど労働基準監督署に報告しなければなりません。

なお、労働災害が発生した事故現場が建設現場等で、会社の事務所がある地域と異なる場合は、事故現場のある地域を管轄する労働基準監督署に提出してください。

## 総務 ● 法務

### ●衣替えの実施

社員に事務服・作業服を貸与している事業場では、冬服への衣替えの時期に当たります。

これを機に社内の身だしなみや服装のコードについても再確認するとよいでしょう。

### ●社内外の慶事への対応

秋は慶事の多いシーズンです。社員や、懇意にしている取引先担当者の結婚などの慶事に際して、祝い金をいくらか包めばよいかわ迷うこともあるでしょう。そこで、慶弔について取扱い全般の規程をつくっておくと便利です。

贈答に際しても、相手に不快感を与えないよう、基本的な事項を押さえたうえで、柔軟に対応しましょう。

### ●社内レクリエーションの実施

気候が穏やかになり、社員旅行や運動会など、社内レクリエーションが盛んに行なわれる季節になりました。

ただ、新型コロナウイルスの影響からレクリエーションの実施を見送ったり、規模を縮小して実施したりする企業も多いでしょう。

実施する際は、感染症対策を万全に行ない、感染者を出さない工夫が求められます。

レクリエーションの実施に際しては、詳細を記した資料をきちんと保存しておきましょう。かかった費用は、社会通念上相当な金額であれば、福利厚生費や交際費等とみなされ、税務調査の際に有効な証拠資料となります。

また、実施後に課題と感じたこと、トラブルになったことなどについて記録しておきましょう。





## 民族の音楽 コール・アンド・レスポンス

タンザニアの大太鼓ンハンプの響きは大地にしみ渡る。お祭りで音楽が演奏されるとき、リーダーが歌っ

た一節を受けて、観衆も歌い返す。コール・アンド・レスポンスと呼ぶ形式で、祭り場全体が熱狂に包まれる。管楽器やドラム、ラメラフォーンなど独特の楽器がサバンナの大地に響き合う。（切絵・文＝前田尊）

## ●歳暮・年賀状の準備

歳暮に関しては、昨年の歳暮とことしの中元の贈答実績のほか、取引先一覧などをもとに、贈り先の住所や役職等を更新・確認しながらリストアップを行ないます。モレがないように注意しましょう。

あわせて、贈答品選びも早めに取りかかるようにしましょう。

また、2023年用の通常の年賀はがきは、11月1日から販売されます。

各部署の必要枚数を把握し、購入予定数を取りまとめておきましょう。

## ●取引先の与信管理の徹底

取引先の経営状況に関する情報は、直接先方と接触している営業担当者から集めるのが最もよい方法です。

年末の資金需要期は、とくに念入りに取引先の売掛金管理や与信管理を行ないたいところです。

管理部門としても、営業担当者と密に連絡を取り合い、取引先に変化があった場合は、こまめに報告してもらうようにしましょう。

## 来月の計画を立てるために

▽3月決算法人の中間申告期にあたり  
ます

▽12月の年末調整の準備に取りかかります